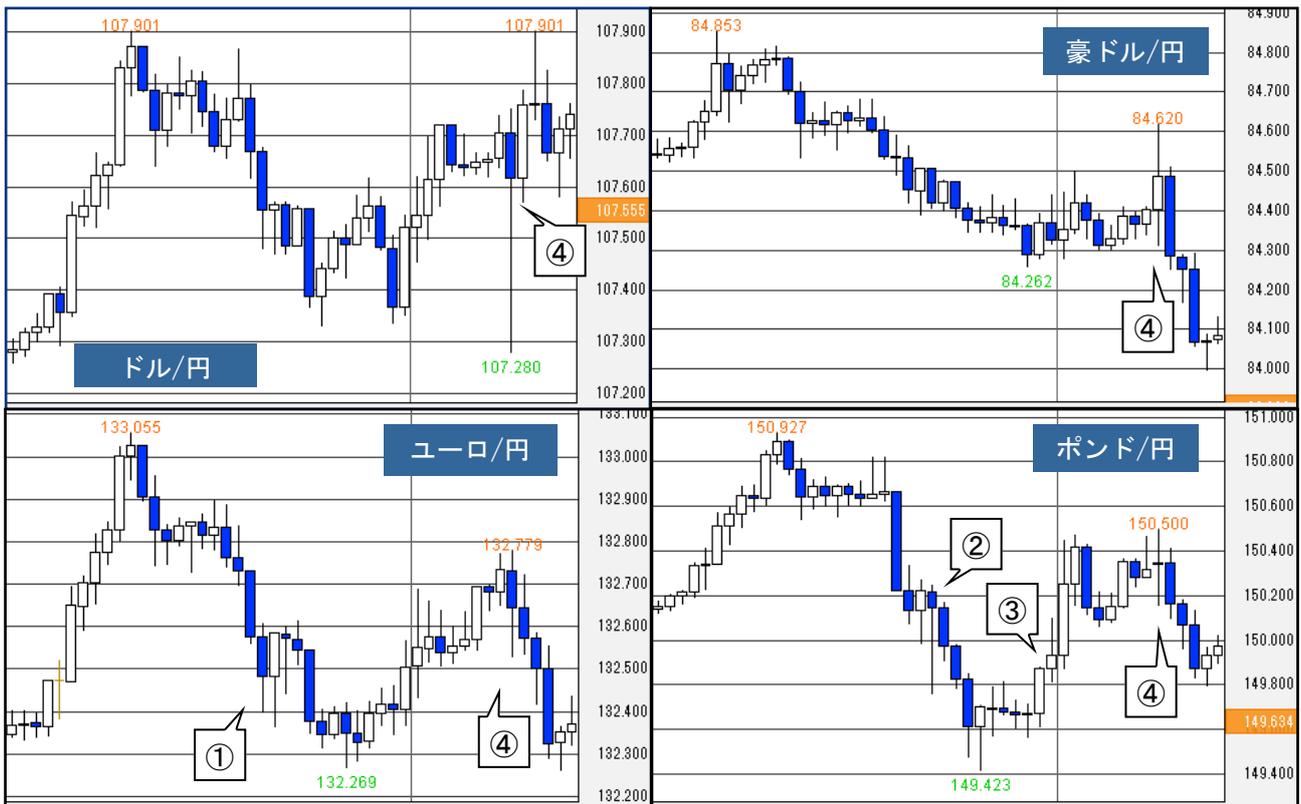


2月22日(木曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

ドル反発の持続性を探る展開

21日(水)の為替相場



期間 : 21日(水)午前7時10分～22日(木)午前6時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所: 外為どっとコム

- ① 独2月製造業PMI・速報値は60.3と市場予想および前回(60.5、61.1)を下回った。その後、ユーロ圏2月製造業PMI・速報値も58.5と予想(59.2)を下回った。また、ユーロ圏2月サービス業PMI・速報値も56.7と市場予想(57.6)に届かなかった。
- ② 英1月失業者数は0.72万人減、英1月失業率は2.3%といずれも前回(0.62万人増、2.4%)から改善。10-12月期週平均賃金は前年比+2.5%と予想通りの伸びとなった。
- ③ 英中銀(BOE)のカーニー総裁が「金利の道筋にはコミットしない」としながらも「追加利上げに向かって」と議会で証言。続いて、英金融政策委員会(MPC)のホールデン委員が「待望の賃金上昇がようやく根を下ろし始めた」などとの見解を示した事を受けて一時ポンド買いが優勢となった。
- ④ 1月30-31日に行われた米連邦公開市場委員会(FOMC)の議事録が発表された。「成長加速で追加利上げの可能性高まると過半数が判断」「一部はインフレ目標に遅れる相当程度のリスクを指摘」「漸進的な利上げが適切で合意」「大半が2018年にインフレは上昇し、中期的に2%で落ち着くと指摘」「一部はドル安がインフレ目標達成を支援と指摘」「数名は労働市場に一定の割合でスラックが残ると指摘」「全体的な賃金上昇の兆候は見られていないと指摘」「数名がイールドカーブ上昇の傾きを監視することが重要と指摘」などとする見解が示された。ドル/円は発表直後に107.20円台まで急落する場面もあったが、議事録を受けて米長期金利が上昇する中で107.90円前後まで急速に切り返した。米長期金利の上昇を嫌気して米国株が引けにかけて下落に転じた事から、クロス円には下押し圧力がかった。

21日(水)の株・債券・商品市場

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
21970.81 △45.71	5943.724 △2.870	休場	7281.57 △34.80	12470.49 ▼17.41
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
24797.78 ▼166.97	0.0560% ▼0.0100	2.862% ▼0.039	1.555% ▼0.030	0.721% ▼0.013
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.2661% △0.0473	2.9500% △0.0605	61.68 ▼0.22	1332.10 △0.90	

外為注文情報(ドル/円)

Sell	Rate	Buy
108.00	108.00	108.00
107.95	107.95	107.95
107.90	107.90	107.90
107.85	107.85	107.85
107.80	107.80	107.80
107.75	107.75	107.75
107.70	107.70	107.70
107.65	107.65	107.65
107.60	107.60	107.60
107.55	107.55	107.55
107.50	107.50	107.50
107.45	107.45	107.45
107.40	107.40	107.40
107.35	107.35	107.35
107.30	107.30	107.30
107.25	107.25	107.25
107.20	107.20	107.20
107.15	107.15	107.15
107.10	107.10	107.10
107.05	107.05	107.05
107.00	107.00	107.00

本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	106.900-108.400	131.400-133.000	83.300-84.500	148.900-150.600

【ドル/円】

昨日のドル/円は4日続伸。米連邦公開市場委員会(FOMC)議事録を受けて米2年債利回りが約9年ぶりの高水準に上昇したほか、米10年債利回りも約4年ぶりの高水準を記録するなど米長期金利が軒並み上昇しており、ドルをサポートした。ドル/円は本日も戻りを試す展開が続きやすいと見るが、昨日2回も上値を抑えられた107.90円前後を上抜けられないようだ、時間足などの短期的視点で「ダブルトップ」が意識される可能性もある。また、108.00円前後は2月上旬からの下げ幅の半値戻しの水準でもあり、16日以降の反発の持続性を測る上でも重要な水準に差し掛かっている。材料面では、米FOMC議事録の公開直後につき米連邦準備制度理事会(FRB)高官の発言に注目しておきたい。なお、本日はカシュカリ・ミネアポリス連銀総裁(FOMC投票権なし)、クオールズFRB副議長、ダドリー・ニューヨーク連銀総裁、ボスティック・アトランタ連銀総裁、カプラン・ダラス連銀総裁(FOMC投票権なし)が講演する予定。

執筆者: 神田

本日および明朝の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
2/22(木)	10:20		(米) カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁、講演	—	—
	14:15	○	(米) クオールズFRB副議長、講演	—	—
	18:00	○	(独) 2月Ifo景況感指数	117.6	117.0
	18:30	○	(英) 10-12月期GDP・改定(前期比)	+0.5%	+0.5%
	21:30	○	(ユーロ圏) ECB議事録	—	—
	22:30	○	(米) 新規失業保険申請件数	23.0万件	23.0万件
	24:00		(米) 景気先行指数(前月比)	+0.6%	+0.7%
	24:00	○	(米) ダドリーNY連銀総裁、講演	—	—
	25:00		(米) EIA週間原油在庫統計	—	—
	26:10	○	(米) ボスティック・アトランタ連銀総裁、講演	—	—
	27:00		(米) 7年債入札(290億ドル)	—	—
	29:30		(米) カプラン・ダラス連銀総裁、講演	—	—
2/23(金)	8:30	○	(日) 1月全国消費者物価指数(生鮮食品除く:前年比)	+0.9%	+0.8%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。